

第2回自然観察会「磯と生物を観察しよう」 活動の記録

平成30年5月16日

- 1 日 時 平成30年5月12日(土) 8時30分～12時00分
- 2 場 所 江之浦海岸
- 3 講 師 垂水 宏昌(三の丸小学校総括教諭) 長山 高子(元中学校教諭)
西垣 亮(白山中学校教諭) 米山 有美(自然観察指導員)
初瀬川孝夫(白鷗中学校教頭) 村岡 俊明(国府津中学校教諭)
高橋 隆之(東富水小学校教諭) (敬称略)
- 4 内 容 江之浦海岸の磯を中心に磯と生物の調査と観察を行い、採取物の解説を聞く。磯を構成する岩石類の特徴・名称・分類調べと周囲の地形・山系等の成り立ち・変化に思いをめぐらす。
- 5 日 程
- | | |
|---------------|---------------------------|
| 8時00分 | J R根府川駅 講師・職員集合(打ち合わせ) |
| 8時30分～ 8時50分 | J R根府川駅集合・受付・挨拶・諸注意 |
| 8時50分～ 9時40分 | 江之浦漁港へ移動(途中: 関東大震災の説明を含む) |
| 9時40分～10時30分 | 磯の生物の観察と採取 |
| 10時30分～11時10分 | 班ごとに採取物の解説と調査・まとめ |
| 11時10分～11時30分 | 感想カードの記入と回収 |
| 11時30分～12時00分 | 根府川駅へ移動 |
| 12時00分 | 根府川駅・解散 |

6 活動のまとめ

◇ 薄雲が初夏の日差しを和らげ、潮風が心地よく感じられるお天気となりました。波も比較的穏やかで、絶好のコンディションの中で磯の生物の観察を行うことができました。

◇ 今年度も参加者が多く安全面が気がかりでしたが、6グループの少人数に分け、各班に講師・研究所スタッフを割り当て、観察、採取、解説・説明、調査等の活動を班単位で実施しました。大きな怪我もなく無事実施することができました。

◇ 江之浦漁港に向かう途中にJ R白糸川橋梁があります。このあたりは、鉄道ファンには絶好の撮影ポイントとして有名ですが、1923年(大正12年)の関東大震災では大きな被害を受けました。今回も地学が専門の長山講師から関東大震災による根府川地区の被災状況について、当時の写真資料をもとにお話を伺いました。地震発生時、根府川駅ではその時ちょうど通りかかっていた列車が乗客を乗せたまま、駅舎・ホームもろとも山津波(土石流)により海中に転落し、ホームにいた人と併せて200名近くが犠牲になったそうです。白糸川橋梁も海中に崩落し、白糸川河口で遊んでいた子どもたち約20人は地震と津波と山津波の挟み撃ちに遭って命を落としたそうです。白糸川橋梁の真下には、土砂の中から奇跡的に無傷で掘り出された釈迦如来像が、根府川地区の安泰を守る像として現在も釈迦堂に祭られています。長山講師のお話の後、班ごとに釈迦如来像に観察会の安全を祈願して観察場所の江之浦漁港に向かいま



観察場所の江之浦海岸



JR白糸川橋梁付近



関東大震災の話を書く



釈迦堂で安全祈願

- ◇ 観察を始めるにあたって垂水講師からお話があり、磯にはウツボの他、ヒョウモンダコ、カツオノエボシなどニュースにも取り上げられた危険な生物がいることを学習しました。
- ◇ 観察が始まると子どもたちは、採取した生き物を容器に移し、「小田原の自然」で名前を調べたり、講師に質問したりして熱心に観察に取り組んでいました。講師の先生方も丁寧で分かり易い説明で子どもたちの知的好奇心に応えてくださっていました。中には名前がわからない生き物もあり、子どもたちの知的好奇心は更に高まっていったようです。



この貝の名前は何だろう？



あっ！何かいたぞ！



潮だまりで観察中

- ◇ まとめとして班ごとにそれぞれが採取した生き物を発表し合いました。観察用バットの中に保冷剤を入れて水温の上昇を防ぎ、観察中に生き物が弱らない様に工夫している班もありました。最後に全体で観察結果を共有しました。
- 今回はムラサキクルマナマコやアメフラシの卵塊をたくさん採取することができました。ムラサキクルマナマコはマナマコとは異なり食用には適さないそうです。アメフラシの卵塊は中華そばの麺に形状が似ており、塊の中に小さな粒状の卵を見ることができました。中には珍しい生き物も含まれていました。小田原名産の梅干しの形に似ていることからウメボシイソギンチャクと名付けられたイソギンチャクは、神奈川県天然記念物に指定(注)されているそうです。また、スベスベマンジュウガニは、そのユーモラスな名前とは裏腹に大人二人を死に至らしめるくらいの毒を持っている危険なカニだそうです。



保冷剤で水温の上昇を防ぐ

(注) 関東大震災による海岸線の隆起で相模湾のウメボシイソギンチャクはほとんどが死滅しました。関東大震災前の様子を残す貴重なものとして、真鶴半島三ツ石海岸のウメボシイソギンチャク群生地が県の天然記念物に指定されています。



「小田原の自然」で調べる



観察ノートに記録



観察結果をみんなで共有

- ◇ 採取した生き物を家で飼いたいという子どもも多かったのですが、自然観察のルールに従い採取した生物は自然に還しました。

参加者の感想(抜粋)

〈小学校2年生〉

- ・最初はヤドカリの種類や模様や形が同じかと思っていたけど、全種類違ったから不思議でした。いっぱいカニを捕りたかったけど、2はいしか捕れなかったです。カニの足が速くて難しかったです。次はいっぱい捕りたいです。

〈小学校3年生〉

- ・いろんな海の生き物がわかってうれしかったです。初めて見た生き物もありました。それは、ムラサキクルマナマコです。また、来たいです。

〈小学校4年生〉

- ・ヤドカリとイソギンチャクを初めて触ったり見たりしました。とても楽しかったです。

〈小学校5年生〉

- ・海の水が冷たかったです。岩に付着している貝が大きければ大きいほど捕るのが難しかったです。
- ・他の人もいっぱい捕まえてすごかった。毒をもっているカニもいて驚いた。たくさんいて捕まえたりして楽しかった。
- ・貝やカニなどたくさんの生き物を見られて良かったです。二枚貝がとてもきれいでした。アメフラシの卵がとても多かったです。先生、今日はありがとうございました。
- ・今日の観察でヤドカリがイソギンチャクにくっついていたのに驚きました。他にもアメフラシの卵が細長かったのが分かりました。

〈小学校6年生〉

- ・ムラサキクルマナマコやカニ、天然記念物のウメボシイソギンチャクを発見し観察できました。
- ・ウメボシイソギンチャクがヤドカリとカニにくっついていておもしろかった。
- ・今回は磯の観察でそんなに捕れないかと思ったけど、一気に色々捕れてうれしかった。でも、大きいカニに挟まれて血がたれてきたけど、でも楽しかった。これからは、生き物を大切にしたい。

〈中学校1年生〉

- ・とにかくかわいかった。カニの目が甲羅から出たり入ったり、ヤドカリは今年一番捕れたので楽しかった。

〈中学校2年生〉

- ・靴を用意してなくて水中に入れなかったが、それだけに陸の近くにもたくさんの生き物がいることが分かった。とても楽しかった。初めて後輩のいる観察会も良かった。また来たい。

〈中学校3年生〉

- ・最後の観察会だったので、良い思い出になった。来年はたぶんボランティア参加しているかも知れない。
- ・今回の自然観察会の経験を通して、海岸には住处によってたくさんの生き物が住み着いていることを知りました。ナマコが捕りたくて、楽しみにしていたけど、石を動かして捕ることを知らず、見つけることができませんでした。でも、海にはたくさんアメフラシの卵やカニや貝がいました。とても良い経験になりました。また、夏休みにある海岸の体験学習がとても楽しみです。

〈保護者〉

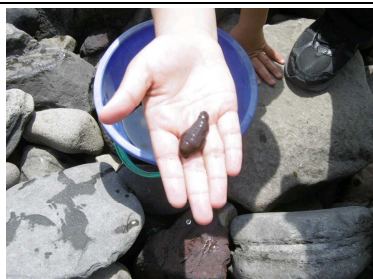
- ・普段なかなか体験することができない磯遊びを体験できて子どもたちとも楽しみました。ムラサキクルマナマコやカニ、ヤドカリなど様々な生き物を観察できました。また、海岸へ向かう道中では、震災などの貴重な話を聞けてとても勉強になりました。とても有意義な会だと思いました。本日は、ありがとうございました。
- ・小田原の地形変動について初めて知りました。生まれて初めてアメフラシの卵、ヨロイイソギンチャク、卵を持ったカニなどを見て感動しました。親子で豊かな自然とふれあう有意義な体験をさせていただき感謝いたします。先生方・スタッフの皆様ありがとうございました。
- ・初めて磯遊びをしました。ヤドカリがたくさんいて驚きました。子どもも初体験で夢中に生き物を探してとてもよい体験ができました。ありがとうございました。
- ・とても楽しく参加させていただきました。生き物を探すのは足下の石をどけてじっくり探す方が見つかりました。それぞれの専門家チームで対応してくださるので心強かったです。

当日観察された磯の生物

- ・ダイダイイソカイメン ・クロイソカイメン ・ヤッコカンザシゴカイ ・ヒザラガイ
- ・ヨロイイソギンチャク ・ウメボシイソギンチャク ・タマキビ ・イボタマキビ ・アサリ
- ・イソニナ ・イボニシ ・ヨメガカサ ・キクノハガイ ・アメフラシ（卵塊） ・フナムシ
- ・ムラサキクルマナマコ ・クロフジツボ ・アカフジツボ ・カメノテ ・アゴハゼ（稚魚）
- ・スベスベマンジュウガニ ・イソガニ ・イソカニダマシ ・ヒライソガニ ・アカイソガニ
- ・シオマネキ ・ホンヤドカリ ・タマキビ ・ヒメケハダヒザラガイ ・タマキビガイ
- ・ホソニナ



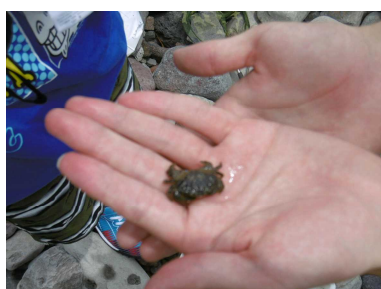
アメフラシの卵塊



ムラサキクルマナマコ



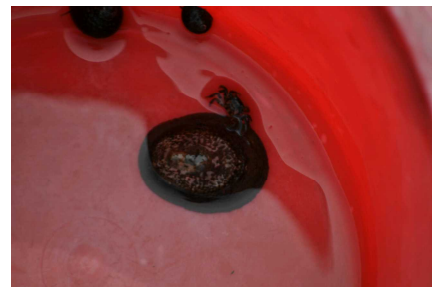
イソガニ



スベスベマンジュウガニ



ショウジンガニ？



ウメボシイソギンチャク

当日観察された鳥類 （初瀬川先生より）

H30. 5. 12

1	タカ目	タカ科	トビ
2	チドリ目	カモメ科	ウミネコ
3			ユリカモメ
4	キツツキ目	キツツキ目	コゲラ
2	キジ目	キジ科	コジュケイ
5	スズメ目	ツバメ科	ツバメ
6			イワツバメ
7		ヒヨドリ科	ヒヨドリ
8		ヒタキ科ツグミ亜科	イソヒヨドリ
9		ヒタキ科ヒタキ亜科	キビタキ
10		シジュウカラ科	シジュウカラ
11		メジロ科	メジロ
12		ホオジロ科	ホオジロ
13		アトリ科	カワラヒワ
14		ハタオリドリ科	スズメ

以上 12科 14種類